

新潟峡彩山岳会・奈良山岳会との交流の歩み



新潟峡彩山岳会（正章）



奈良山岳会（正章）

I 交流の始まりとその歴史は？

○昭和 41 年の大分国体に始まる

当会々長であった坂口圭正氏が登山大会の宿舎にて、新潟県より参加されていた藤島玄氏の頭を蹴飛ばしたことから交流が始まったと伝えられている（藤島氏は新潟県の登山黎明期から登山を開拓して後進の門人を多く育てた山岳会のリーダー）。

互いに会の方針や性格などが近似していることから姉妹山岳会の話が進み、昭和 41 年 7 月の大峰連山縦走に新潟から 4 名の会員が参加され、記念すべき交流が始まった。

以後、台風や会の事故などそれぞれの事情から延期や中止を繰り返しながら平成 29 年まで延べ 33 回の回数を数えている。

○地域の山を知る相互訪問の登山

始まった第 1 回から第 22 回（平成元年）までは、奈良→新潟→奈良と毎年行ったり来たりを繰り返していたが、とくに奈良においては山域が限定されるため、実施場所が同じというマンネリ化を解消したいということから平成 3 年より、2 年に一度の実施として、交代に担当することとなり、現在も 2 年ごとに相互訪問をする形態へと変化している。

2 どのように継承されているの？

○51 年にわたり 33 回の交流山行が開かれている

別表は、過去の開催年と開催場所を一覧にしたものであるが、実に半世紀にわたって近くはない新潟と奈良の岳人の交流が続いていることは珍しい。

現在、会員として在籍し第 1 回から参加している会員は奈良山岳会にはいないが、峡彩山岳会では在籍していると聞き及んでいるが、まさに半世紀にわたって交流の歴史が連綿と続けられていることは珍しく、他の会からも羨望のまなざしで見られている。

○交流によって得られたものは？

①他を顧みて新しい発見がある

山岳会の活動は、ともすれば自らの価値観のみによって支配されることが多く、どちらかといえば排他意識が強い業界（？）といえないか。それだけに離合集散の例が多い。これは山屋としてのこだわり、実直性でもあり、こうした気概がなければとても厳しく何の得にもならない山行などやっつけられないのも事実である。

ただし仲間として、改めて交流してみると当方にはない技術や習慣、そしてスタイルがあることに新鮮な感動を覚えることとなる。例えば 2 月の二王子岳、5 月の飯豊本山の交流会でこうした多くの知見に接し、広く深い技術や考え方があることに驚かされた。とくにわが国で最も雪の多い地域の活動で長年培ってこられた様々な生活技術は当会の会員も積極的に学び吸収しなけれ

ばならないと思う。

②もてなし、もてなされる事の喜び

「朋あり遠方より来る、また楽しからずや」と論語にあるように人生の最高の楽しみの一つは、仲の良い友とともに酒を酌み交わし歓談することであるというとおりに、同好の志を持つ者が集まり山の話をしたり近況を報告し合ったり、技術を交換したりするのは、最大の喜びになるからだと思う。この交換会に参加した会員の多くは、次に迎えることに率先して参加されていることなど迎えること、そして訪問すること、いずれも人として素晴らしい体験を得させて貰えることなど交流の楽しみは大きい。

③一つの価値観から多様な価値観の新鮮さ

山岳会に入会される動機の多くは、自らの知識や技術をもっと向上させ、山に関する世界をもっと広げたいということが多いのではないかと。そして山岳会で得た知識や経験が自らの山行に活かされ満足度を高めていく。更に山岳会同士の交流は、普段縁のない人や知識と出会えることがより自らの山行に新しい刺激をもたらせてくれる。交流を通じて新しい生活技術や用品の工夫など多様な考え方に目から鱗となった事も多い。山の技術とは実践的な習得でこそ身に付くことを感じさせられる。

3 参加した会員の感想

①峡彩会員さんのメッセージ（編集子が勝手に抜粋）

沢は長く続くナメ滝に驚きました。夜、焚き火を囲んでの宴会はとても良かったです。翌日の奥駆け道には歴史を感じました。それではまた2年後にお会いしましょう。有り難うございました。
峡彩 / O.N さん

赤井谷の沢は美しく感激しました。なめらかな白い岩、コバルトブルーの流れ、薄雲のかかる木立から聞こえる鹿の鳴き声、夢の中に入り込んだかのようなようでした。初めての交歓会に参加して何よりも嬉しかった事は奈良の皆さんとお会いし温かい人柄に触れることが出来たことです。
峡彩 / S.I さん

原始の中の沢歩きが始まった。水はとても美しい、新潟の沢はグリーンだが大杉谷はブルーなのだ。奥七つ釜を抜けて快適な遡行を続けて幕営地に着いた。奈良のメンバーがデポしてくれた食料や飲み物に感謝。この泊まり場はすこぶる快適だ、人はいないし平らで水は豊富で焚き火は良く燃え、ご馳走はあつて云うことない。また良い思い出が出来た。2年後は新潟でお待ちしています。
峡彩 / T.N さん

行動中は楽しさの余り、あっという間に時間が過ぎました。下山の奥駆け道は岩場あり、法螺貝のBGMあり、行者さん有りで2倍も3倍もエンジョイしました。また幕営セット美味しい料理をみんな大きなザックに持ち上げて頂いて、お陰様で夜は焚き火を囲んで至福の時を過ごすことが出来ました。残念だったのは懇親会で会った方々の顔と名前を覚えきれなかったことです。
峡彩 / J.U さん

焚き火を囲んでビールで乾杯。夜の更けるままに奥駆けの自然の懐に抱かれて何年も前からの知古の岳友の如く語り合い楽しい一夜を過ごさせていただきました。

最後の夜の集会場では、司会のKさんから乾杯の指名を受け宴に入る。後は山談義やら歌声やらで夜遅くまで盛り上がり、楽しく親睦が出来て嬉しかった。

峡彩 / K.T さん

糸笹の敷き詰められた日本庭園のような大台ヶ原、新潟では見られない黄色のヒメシャラの木がとても印象的だった。滝、釜、淵と連続し七つ釜ではTAさん、TOさんがダイビングして楽しんでいましたが、私もすれば良かったと悔やみました。懇親会も懐かしい人、初めての人、大勢が集まって歌の合唱や芸達者の余興は楽しかったです。帰りの最後はブルーランプ5回の合図「また会おう・のサインでお別れ。

峡彩 / M.T さん

②奈良の参加者からのメッセージ（編集子が勝手に抜粋）

2日目には天候も回復し「天国へ続く・・・」といわれる明るく開けた沢の遡行、幻想的な草原に飛び出す詰め風景に私たちメンバーは全員が感嘆の声を上げました。関西にはない山、溪の景色を味わうことが出来、素晴らしかった。そして峡彩の皆さんの温かい人柄に再び触れることが出来、短期間ではありましたが共に山で過ごせたことが何より印象深く感動を覚えました。次回は奈良でお迎えをします、多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

奈良 / H.O さん

初日の行程を終えて幕営地に着く頃雨がばらついてきた。タープ三張、テント一張そしてキャンプファイヤーの上に雨よけの大きなシートを一張り、焚き火用の木は濡れているが熟練の技で30分ばかりでパチパチと勢い良く燃え上がる。日が落ちかけた頃よりNリーダーの歓迎のあいさつで楽しい夕食の宴が始まる。そして会歌に始まり山の歌が合唱され夜遅くまで交流が続き、またまた感激の山行となりました。

奈良 / M.I さん

交歓登山に初めて参加したのは今から10年前でした。今回の参加で交歓登山は4回目です。その度に新しい方々との交流が増えそしていろいろ新しいことを発見したり気付かされたりする新しい刺激を受けてきました。これからも特別な理由がない限り出来るだけ長く参加することを楽しみにして、肉体的な精神的な若さを保つようにしていきたいと思っています。

奈良 / K.K さん

山全体が一枚岩のスラブ帯を形成し、微妙なバランスで攀じる「御前ヶ遊窟」と蛇行を描いて流れる100mのトロ「柴倉川」は、とても奈良では経験することが出来ない異分野の体験でした。もう10回は参加したであろう越後にまだこんな山域があったとは、二度と経験出来ない、貴重な山行に満足感100%の交歓登山であったこと峡彩の皆さんに深く感謝を申し上げます。有り難うございました。

奈良 / N.U さん

別表

新潟峡彩山岳会/奈良山岳会 交歓登山の歴史

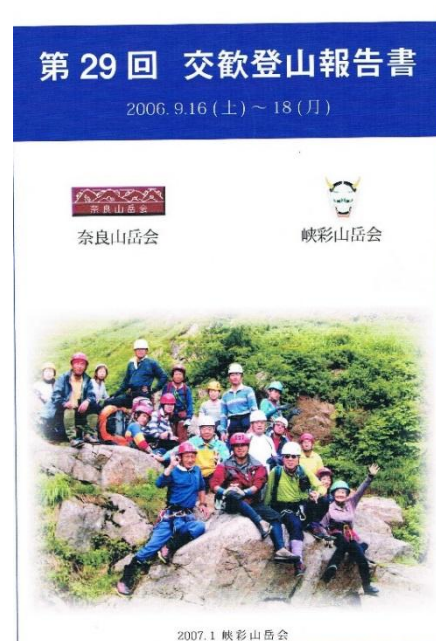
実施回数	実施日	開催地	実施場所
1回	昭和41年 6月	奈良	大峰奥駆け道 洞川～山上ヶ岳～弥山～前鬼
2回	昭和42年 7月	新潟	大佐渡山脈 外海府
3回	昭和43年 9月	奈良	大台ヶ原～河合～和佐又山～大普蔵岳～山上ヶ岳～洞川
4回	昭和44年 9月	新潟	飯豊連峰 杵差岳～地神山～門内岳～北股岳～飯豊山荘
5回	昭和45年 5月	奈良	大台山系大杉谷(松阪～千尋滝～桃の木小屋～日出ヶ岳)
6回	昭和46年 9月	新潟	飯豊本山予定が、奈良山岳会事故により中止
7回	昭和47年 9月	奈良	弥山川～弥山～釈迦岳～前鬼
8回	昭和48年 4月	新潟	二王子岳、梁山泊小屋
9回	昭和49年 9月	奈良	池郷川溯行と前鬼周辺
10回	昭和50年 9月	新潟	大佐渡山脈 金北山
11回	昭和51年 9月	奈良	大峰山系 布引谷の予定が台風のため中止
	昭和52年	奈良	奈良で全日本登山大会開催のため中止
12回	昭和53年 9月	奈良	東の川溯行～大台ヶ原～前鬼
13回	昭和54年 5月	新潟	飯豊連峰本山～大日岳～北股岳縦走
14回	昭和55年 9月	奈良	大峰山系 神童子谷～犬取谷～稲村ヶ岳
15回	昭和56年 9月	新潟	恋ノ岐川溯行～平ヶ岳
16回	昭和57年 11月	奈良	弥山川溯行(双門～弥山)
	昭和58年		奈良わかくさ国体山岳競技準備のため中止
17回	昭和59年 2月	新潟	五九豪雪のため粟ヶ岳を変更して梁山泊・葡萄鼻山
18回	昭和60年 10月	奈良	池郷川溯行～前鬼
19回	昭和61年 9月	新潟	米子沢～巻機山、八海山
20回	昭和62年 9月	奈良	白子又川～弥山
21回	昭和63年 9月	新潟	御神楽岳
22回	平成元年 9月	奈良	大杉谷～堂倉谷～大台ヶ原
23回	平成 3年 8月	新潟	恋ノ岐川溯行～平ヶ岳 本年より2年に一度の開催となる
24回	平成 5年 8月	奈良	南紀十津川 八木尾谷溯行
25回	平成 7年 5月	新潟	飯豊本山春山縦走(三国岳～本山～北股岳～石転び沢)
26回	平成 9年 11月	奈良	東の川溯行 大普蔵岳
	平成 11年 9月	新潟	台風のため中止
	平成 12年 9月	新潟	峡彩事故のため中止
27回	平成 13年 9月	新潟	米子沢～谷川岳
	平成15年	新潟	峡彩事故のため中止
28回	平成 16年 9月	奈良	赤井谷、大台中の滝登攀
29回	平成 18年 9月	新潟	上越 宝川・ナルミズ沢
30回	平成 20年 9月	奈良	大台山系 堂倉谷及び弥山～大普蔵岳
31回	平成 22年 9月	新潟	海谷山塊、雨飾山・明星山
32回	平成 24年 9月	奈良	大台ヶ原(白崩谷下降東の川)、前鬼～釈迦ヶ岳
33回	平成 26年 9月	新潟	柴倉川・御前ヶ遊窟、飯豊縦走(杵差岳)
	平成 28年 9月	奈良	台風接近のため中止
	平成 29年 9月	奈良	台風接近のため中止

4 交歓登山会のスナップ

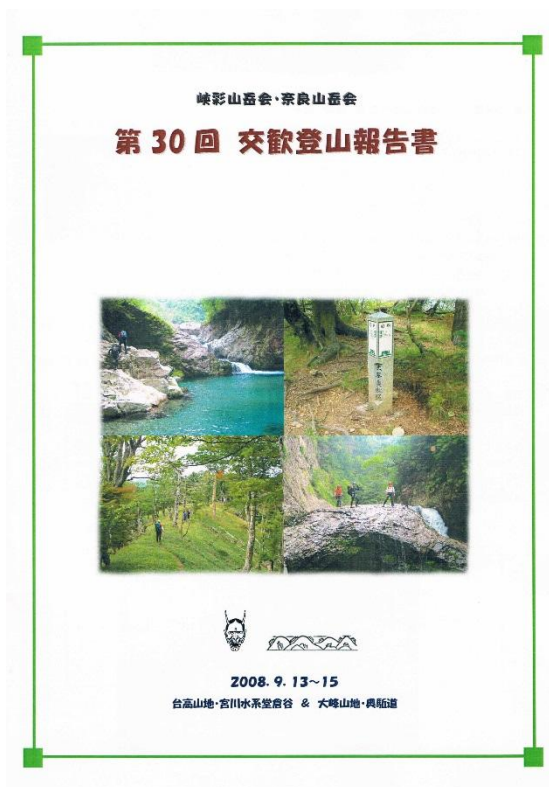
●過去の交歓登山会報告書(数回分を掲載)



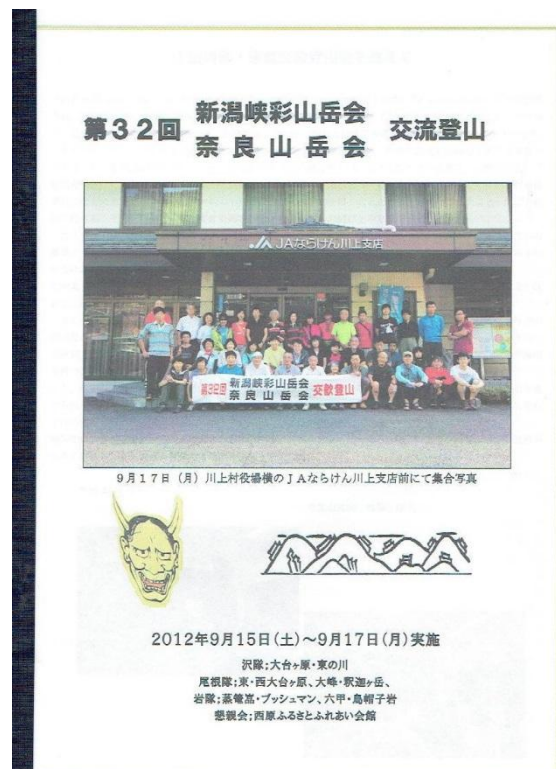
第28回 赤井谷、大台中の滝C



第29回 上越 宝川・ナルミズ沢



第30回 大台山系(堂倉谷・弥山)



第32回 東の川・釈迦ヶ岳、前鬼の里)

●過去のスナップ



昭和 45 年? 第 5 回交歓会 (川上村民宿にて)



昭和 49 年 第 9 回交歓会 (前鬼宿坊)



昭和 48 年 第 8 回 二王子岳と峡彩山岳会小屋 (梁山泊) 素晴らしい小屋でした。



(飯豊本山ピーク)



(切合小屋付近からの飯豊本山)

昭和 54 年 5 月 飯豊本山縦走 (三国岳～飯豊本山～北股岳～石転び沢)



竪穴雪洞を初めて体験(快適)



本山まで頑張ろう



昭和56年9月 恋ノ岐川より平ヶ岳



平成元年 第22回 大杉谷・堂倉滝



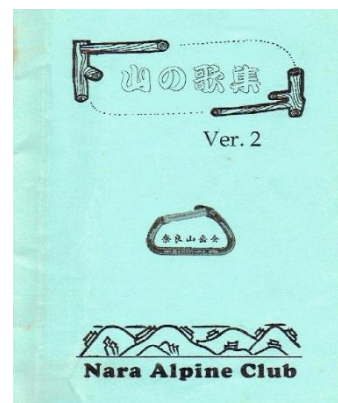
平成 26 年 9 月 第 33 回 御前ヶ遊窟



平成 26 年 9 月 第 33 回 柴倉川



平成 26 年 第 33 回 御前ヶ遊窟と柴倉川 奥川入民宿にて



こんな歌集を編集して宴会に臨む(コピペの無い時代から一生懸命でした)



峡彩山岳会創立60周年記念祝賀会

平成25年10月26日(土)
於 新潟駅前 東急イン



奈良山岳会 80周年式典 (平成25年1月)